

常盤新聞

日刊 發行所 福島縣 川崎町 文部省 印刷所 川崎町 電話 六三〇番

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元

零售 每份五分

社址 福島縣 川崎町 電話 六三〇番

印刷所 川崎町 電話 六三〇番

刊夕日七十月五

切斷の苦みなく、淋病
ゆびはれ、やけど、乳はれ
梅毒、さきさき、乳はれ
くさ、ろうまらす
其他化膿するもの一切

靈藥ムテキ

發賣元 阿康藥店
縣社下古殿治町(電話四四番)

スグキク 風、頭痛
効力本位 神経痛

有偽物要注意

常磐第一ノ磐城炭礦ノ石炭

大炭礦ナル磐城炭礦ノ石炭

ツ コークスノ特長

一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速

ドーシテアンナ良イ品ヲソナニ安ク賣レルカト驚カ
レ一度使ヘバ永久ニ使ヘ下サルノガ當店石炭ト「コ
クス」ノ特長

石炭は正十貫目 一俵金六十五錢也

平 阿部石炭商店
(電話二三七番)

軍進大 ドールバクツビ 原作

雨彈煙砲

開公に遂・作傑超部軍活日・度年三和昭

戦合大天奉起想に下の旗章日大たれさ出め染に血紅

日活超大作
原脚色 前原 武志
監督 吉本 清壽

血織薩摩
南光明・川上彌生・阪東巴左
衛門・小松みどり・尾上華丈
金子弘共演

松竹大作映畫
原脚色 虚空 天外
監督 吉野 二郎

義劍侠刃
市川松之助、金井光義、小
藤田正一、高松繁子、藤田
陽子、若葉信子

日活傑作集の一
監督 秋田大造

千兩箱と女
尾上華丈、鏡葉歌壽子、中
村吉次

五月十八日 日活
土曜日 學生生デ！
日活松竹
高級常設 平 館電四
六六

常磐文藝

森れい子

行きすりの人にも別れずし
こなり、今亦きみを別れん
とせし心

このあさげ城山りかねおご
そかに、ひびきて思ふ京の
町かな

玉すさにすこやかなれどし
るして、初めて祈る此の
心かな

音もなきみやまの中の静守
に、椿の花の咲きてありけ

静まれるみ山のひるを問ひ
くれば、はるかに汽車の行
く音きこゆる

日だまりに紅き椿の花咲き
ぬ、ねもごろに思ふ遙かな
る人

世の中に赤い花のなかりせ
は、この情熱の静まりもせ
む

夕もやのとこあめたるそ
の中に、かそかにみゆる遠
山の雪

はるかなる赤井の峯に朝日
さし、ますめる空を雲のこ

さ行く

我心ののるとしはなけれど
も病にあれば知らず誦しぬ

狂しくも心亂れて春の夜を
うたうつ、なく月を呼ばは
る

狂はしくいなきても見ゆも
ろくの、世のわすらしさ
に心たへかね

いか程に泣けども晴れず涙
に沈む、石のごとくに割な
き身かな

理想的耐水耐熱接合剤

キングパスト

水が微温湯で溶せばすぐ
使へる簡単な接着剤
一名コナニカワ

四季を通じて一度ついたら
膠着力は絶對的だす

理想的完全耐水耐熱の可
驚威力を發揮し防腐の効
果著し

小野屋藥店
電話四四番

旅の者心中

帝キネ
マキノ
有聲座

吉田山新平プロダクション
怪奇 百鬼夜行
鳥人高木新平一人七役
次週公開

加賀朝香三四郎
九卷

片岡千恵蔵主演
第五萬花地獄全十
篇

市川小文治、山本禮三郎、
龍三、金子新、花園百合子住
の江田鶴子、川上君江助演
大帝キネ本年度傑作期待篇
嵐班藏主演、嵐班徳、千草香
子助演

御進物には
ヤマフルの商品券が一番

醤油味噌
たひら正宗
鯉節 食料品

鹽屋
山崎合名會社

福島縣 平町
電話(營業部) 一〇番
(醸造工場) 二七番

學生服
夏季霜降小倉
小學生.....1.00ヨリ
特製中學生.....2.40ヨリ
平 二 なかや洋服店 電二〇三

小學生通學服
七八才用一圓十錢
十才用一圓二十錢
十二才用一圓三十錢

女學生用白傘
リース付一圓三十錢
タックス付一圓九十錢
ヘリック取一圓五錢

店內に陳列シテ有リ
マス

平町四丁目
鶴屋商店
電話百四十番

季節向御料理大勉強
愈々公園の節

廉賣 親切 第一 割烹と さわ
町 電話二二六番

松ヶ岡公園池ノ端

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

平稅務署管内の納稅組合好成績

現在組合數五百四十

組合員總數九千九百五十名

最近各町村が不景氣の打撃をうけて國民の三大義務の一角たる納稅も背に腹はかへられず期間内に納入するものが段々少くならず各町村ともこれが

整理處分 につれてる程で年々増加する納稅處分によつてその傾向を窺ひ知る事が出来る。各町村ではこの納稅者の防止矯正を目的として盛んに納稅組合の設立を奨励し更に表彰規定を設ける等苦心を拂つて組合創立を宣傳した結果最近に至つて漸く見ると成績をあげた。

本縣内 へは從來成績の香しくなかつた石城郡下各町村も町會當局及び稅務署管内三十四箇町村中納稅

貯金組合 數二百五十五組合員總數四千五百八十一名取納納稅組合數は二百八十五組合員五千人三百七十五名で總じて納稅組合の合計數は五百四十名の組合員總數九千九百五十名で郡内現在戸數千戸に對して二百二十六の割合で二十パーセント内外なので更に

稅務署 へは各町村當局と協力組合の設立勸誘宣傳に努めることとなつた。

藝妓見習ツ子強盜に逢つたと

百圓紙幣を横領

平町新田町小光亭藝妓見習茨城縣生れ和静子(一)假名、は本日午後二時頃藝妓屋品澤より依頼され幣城銀行に至り千九百一圓半五錢の預金を引下げて歸る途中一人の男に脅迫されて百圓紙幣一枚強奪された。稱し泣き、歸宅したので早速平署に届出した結果青田刑事部長本人を取調べた處ウツナ所があるのので一層追求

成功を夢見 昨夜十一時頃平署附近を二名の少年徘徊し居た。擧動の不審な處から署警備隊が事か誰何したるに突然逃げ

一少年逃走 平署で保護

出さんとした爲め取押へて調べた處石城郡湯本町吹谷七二末吉二男菊地福治(一)同町字三國二〇八孫助二男比佐治郎(一)の兩名にて成功を夢見東京に高飛びせん。父末吉の現金五十圓を盗み逃走し來れるものである。専門目下平署にて保護を加へて居る。

紹介所に對し

誤つた恥辱感

平劇場で講演會

石城地方は打續く不景氣に近來益々就職難を叫ばれ同状態は青少年をも少からず脅かしてゐる之等閑居の結果から知らず知らずの中に

不良性に陥るものもある。平町職業紹介所では人事相談所其他にも連絡をとり極力失業者の就業斡旋に努めてゐるが世上には尙誤つた恥辱感から紹介所をめぐることすら傾きがある。一般の理解を求むる爲と更に同事業の普及發達を遂ぐる爲に來る廿五日午後六時平劇場に於て

講演並に 活動寫眞會を開催する等當日は東京地方事務局から遊佐局長も臨席する由であつて翌廿六日は同劇場に縣下及び隣縣茨城の左記五紹介所長並に主任の聯合協議會を開き打合せを行ふ。

縣下福島、郡山、若松、

射擊大會

内郷村にて

石城郡内郷村獵友會にては過般の射擊大會に於て優勝旗を獲得した爲め來る廿日午前十時より鬼ヶ澤新設射擊場の披露を兼ね射擊大會を開催すると會費一圓五十錢にて同好者の來場を歓迎する。

關西への旅

警女校修學旅行團

入學した當時から青きにしみこんでゆく様な故郷の景色につつまれて憧れ且つ夢見ていた旅行も目にしむ様な新緑の頃しかも快い五月の朝私達の前に訪れてくれました。

いつもの無心に立つていた停車場も今日ばかりは私達の喜びの中にひたさされてくれました。五月の朝霧が空にだけこんでゆく平和な日に、私達百餘名の大團體はおのがじり楽しい空想に耽りながら上野行の汽車にのりこみました。

時の流れはあまりに早い午後十二時五十分私達が出た空想の都が現實となつて、あらはれてくれました。そこからは私達は新しい文明の機關である地下鐵道に乗り込みました。窓から吹きこむ風は私達の疲れをいやしてくれました。始つたのでキヤツと騒いだのもこついででした。地下鐵道

募集

文藝其他投稿を募集します

家の安げん事を祈りました。それを終へてから私達は小暗い迄に枝をさしかはして居る日比谷の公園を通り丸ビルに着き夕食を終り夜の銀ぶらを味ふべく出かけました。そして熱田に向ふために夜の十一時半發の明石行の汽車を待ちました。

(第一信)

社告

明十八日は春季大掃除の爲め休刊仕候間御承知願上候。尙ほ雨天の際は平常通り五月十七日

磐城時報社 常磐毎日新聞社

ラヂオ早わかり

仙臺放送局の解説

新緑の香は間に漂ひ若人の胸に響き多き今日この頃時鳥のそれならラヂオエツチケの呼び聲が夜を籠めてまつたラヂオファンに何んらよろこびを興へてゐるであらうか丁度戀じき人のさゝやきを聞くやうに胸のときめきを以て迎へられるこのH.K.の聲は何所から何ういふ経路で送られるのであるか簡單ながらJ.O.H.K.の解説をして見よう

「光は東方から文化はラヂオから」といふ標語がよく現してゐる通り文化的事業としてのラヂオの効能は此

所に繰返す必要はあるまいそのラヂオを安價な鑽石受信機で東北の隅から隅まで聞かせようとの目的から生れたのが世界的に通用する此の「J.O.H.K.」呼び出符號下現されてゐる仙臺放送局である

日本放送協會東北支部に屬してゐるこの仙臺放送局は仙臺演奏所と原町放送局とに分たれてゐる、その内仙臺演奏所の方からいふと同所は北一番丁同心町通西南角の放送協會東北支部に接續して建られてゐる建坪六

千五坪半鐵筋コンクリート平家建の棟でクリーム色の壁から何となく文化の魅である事を現してゐるやうな心地よい感と興へてゐる

大きな寄附金の贈りなど前以て一週間なり十日間なりの献立表を作りこれによつて材料を仕入れたり分量を定めたり料理法をきめたりして毎食時滞りなく食堂に運び込むことになつて居るがラヂオの放送もこれと同様送話機を通して聴取者の耳に傳へるまでには少くも十五日前にプログラムを作つてかゝらなければならぬつまりその月の一日までには十五日から月末までの放送番組を作り上げてこれによりて諸般の準備

をしなければならぬ又十五日までには翌月の上半月分を作るといふやうに先へくとすゝめて行く而し如何に料理が上等で甘くとも毎食續けられては飽き

が來ると同様、何んが名士名人の放送でものべつにやられたんでは今日もコロッケ明日もコロッケで矢張りあくびが出る、それで滋養の多いもの、甘いもの、綺麗なものを、珍らしいもの、新らしいもの、季節のもの等を夫々の味をつけ量を定め巧に按配して何の品にも箸をつけさせざるに頭を使はなければならぬとこの料理人の苦心が等しく放送當事者の苦心であるのだ

放送部員には立派な腕前

と頭腦の働くと材料の選擇やその買出しその他懸命な努力とが必要なものである

夫れで放送部員は自身が放送する譯ではないが専門的知識をそなへた夫れらの通人でなければならぬことになる

H.K.の放送部には草放送部長を御大として金須、鈴木、篠崎、杉田の諸君に立花囃託、川崎、河村、兩君と石母田、河村の兩嬢のアナウンサーと都合十人の人々がある

の放送料理が甘い辛いのか何うかは之等のメンバンの腕前と頭の働きの如何によつて定められるのである先づ番組編成會議から始まる